

## IV 教育方法に関すること

### ◆科目 12 アクティブラーニングを活用した授業展開（対象：全教員）

目的・ねらい	・介護福祉士養成に必要なアクティブラーニングの理念と理論を理解する ・自分の授業の現状と課題を把握し、改善方策を見いだす
講師	・藤村 裕一／国立大学法人鳴門教育大学 学校教育研究科
研修概要	(1) アクティブラーニングが必要な背景 (介護福祉士に求められる資質・能力と、学生に求められる学力) (2) 具体的な授業設計論 ・介護実習指導の改善策 ・問題発見・解決学習の授業設計 (アクティブラーニングに必須な個別最適な学びと協働的な学びの両立)
時間数	(1)30分／(2)30分 計60分

介護福祉士には、利用者の個別性に着目し、自立支援に向けて、利用者・利用者の家族等の関係者・介護者みんなの Well-being を目指して、創造的に思考・行動していなければならぬ。そのようなことを可能にする中核的な能力は、問題発見・解決能力である。この力は、従来の教員主導の知識注入型一斉授業で指示待ち人間を量産するような授業では、育成することが不可能である。

そこで、アクティブラーニング<sup>注1)</sup>への授業改善が、介護福祉士養成のためには必要になる。もちろん、安全指導やコンプライアンス指導などのように、基礎・基本として教師主導で確実に教えるべきこともあり、基礎・基本2割、アクティブラーニング8割程度が妥当であると言われている。

次に、このような授業改善を実現するための各種理論と具体例を紹介した。まず、「学力向上に対する4つの授業タイプごとの役割」を説明した。基礎・基本を育成する「教師主導の講義・実習・習熟型授業」を2割程度に絞り込み、次に「教師主導の課題解決学習」（学習課題<sup>注2)</sup>を教師が与え、追求方法も教師が指定する学習）で学び方を鍛え、練習として「学生主体の課題解決学習」（学習課題は教師が与えるが、追求方法は学生が自由に決める学習）で練習をするようにする。そして、最終形である探求型の学習「問題解決学習」（現在は「問題発見・解決学習」と呼ぶこともある）で、介護福祉士に必要な、問題発見・解決能力を育成していく。

さらに、「問題解決学習における思考モデル」を紹介し、具体的な授業デザインのポイントを説明し、それぞれの場面で活用できるようにする思考が異なることを説明した。

注1) 現在は、単に活動させればよいとの誤解があるため、要件によってネーミングした「主体的・対話的で深い学び」という語が用いられている

注2) 教育学では教師が与える問いを「学習課題」と呼び、学生が発見したものを「学習問題」と呼ぶ

次に、学生一人ひとりの特性の違いをいかし、主体的に問題発見・解決ができるようにするための「個別最適な学び」の背景にあるA T I（適正処遇交互作用）の理論と、それを実現する「E d T e c hによる個別化」（A Iドリル等の活用）と、教材研究と学生の反応予測から、学生をタイプ別に複線化して学生を支援する「個性化」の理念と手法について説明した。

また、介護福祉士養成で非常に重要な役割を担う実習指導の、アクティブラーニングの視点からの改善についても説明した。実習指導に優れた教員のコンピテンシー研究を基に、学生の「意欲の引き出し」、学生の悩みや考えに耳を傾ける「傾聴」、学生の前向きな取り組みを評価する「承認」、学生を安心させる「寄り添い」、より深い学びを主体的に引き出せるようにする「質問」などが、求められることについて解説した。

最後に、上記のようなアクティブラーニングへの授業改善を進めるために、授業や実習指導の様子を教員・学生の手承を得た上で記録したビデオを視聴しながら、改善の具体的方策について検討する省察の場の提供が有効であることについて説明した。

令和2年度生活困窮者救済費等補助金(社会福祉推進事業分)  
「介護福祉士養成施設の教員の教育力向上に関する調査研究事業」  
介護福祉士養成課程の教員の教育力向上に向けたモデル研修

対象：全教員

分野Ⅳ 教育方法に関すること

## 科目12 アクティブラーニングを活用した授業展開

公開期間：令和3年3月3日～12日

藤村 裕一／国立大学法人鳴門教育大学  
学校教育研究科准教授

1 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 本科目の目的

- 介護福祉士養成に必要なアクティブラーニングの理念と理論を理解する。
- 自分の授業の現状と課題を把握し、改善方策を見いだす。

2 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 本科目の流れ

(1)	アクティブラーニングが必要な背景 (介護福祉士に求められる資質・能力と、学生に求められる学力)	30分
(2)	具体的な授業設計論 ● 介護実習指導の改善策 ● 問題発見・解決学習の授業設計 (アクティブラーニングに必須な個別最適な学びと協働的な学びの両立)	30分

3 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 学生にこんな傾向は見られませんか？

<例>

- 授業に集中できない
- 授業中にスマホをいじっている
- 指示されたことはするが、それ以外はしようとしない
- 課題を提出できない
- 実習になんとか取り組み、トラブルを起こす

学生が悪い？

4 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 介護福祉の神髄は教えられるか？

何でもしてあげるのではなく、自立支援した方がいい？

一人一人みんな違うのでどうしたらいいのかわからない！

利用者が選んで決められるようにした方がいい？

こんなことしたら、利用者の尊厳が傷つくじゃないかな？

利用者はそう言うけど、家族が困るんじゃないかな？

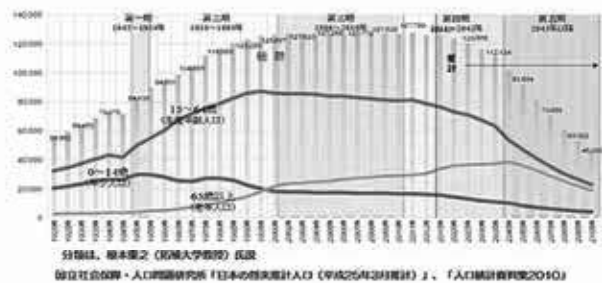
利用者に頼まれたことだけをすればいいのかな？

問題発見・解決能力

利用者の周りの様子で気付くというのは難しいな！

5 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

図1 日本の人口推移・推計（年齢3区分別）



6 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

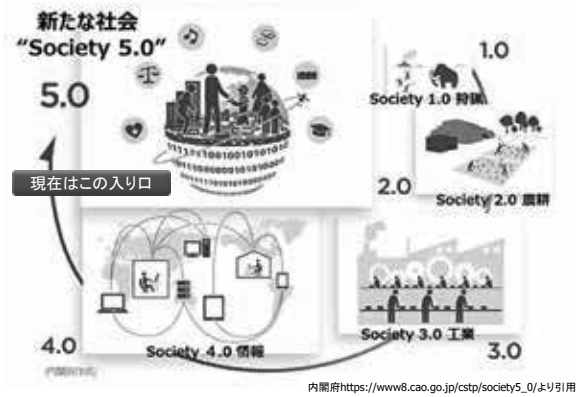
こんな大学・短大・高専・専門学校になっていませんか？

- 最初からテキストを開き読み解く学習
- 走り書きの板書(非構造的な板書)
- 全員前を向いた机の配置
- 教員を向いての発言
- 学習課題・学習問題と対応した解決が、不明な授業
- 教師の指示のみで進行する授業
- 学生の思考と活動の流れを想定しない授業
- ワークシートが誘導になり、思考を奪っている

7 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

どんなに変化が激しく、困難な状況でも  
利用者と家族等の関係者・介護者  
みんなのWell-beingを  
創造的に実現できる学生(介護福祉士)を  
育成するための学力観・授業観の転換

8 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会



9 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

現代社会・これからの社会の本質的な特徴

VUCA World

変化が激しく  
予測困難な  
VUCA World  
を生き抜く人材を  
育てなければならない

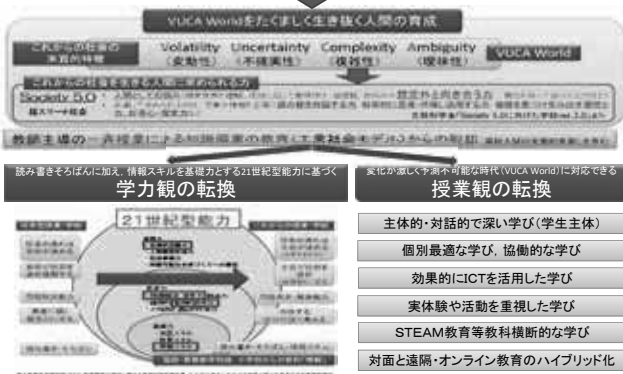
教師主導の一斉型  
授業(知識再生型)  
チャークトークでは  
無理



Beritz Global Blog (https://www.beritz-globalblog.com/vuca) 文部科学省初等中等教育局学びの先端技術活用推進室・桐生室長のプレゼンに加筆

10 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

どんなに変化の激しい社会でも、たくましく生きていける学生の育成  
(介護福祉の世界がどんなに変化しようとも対応可能な人材の育成)



11 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

21世紀型能力

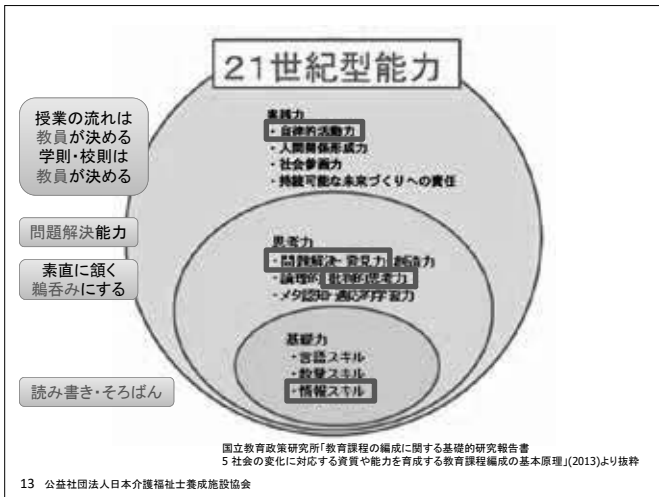
基礎力  
- 自律的行動力  
- 人間関係形成力  
- 社会参画力  
- 持続可能な未来づくりへの責任

思考力  
- 問題解決・批判的思考力  
- 論理的・科学的思考力  
- メタ認知・基礎的学習力

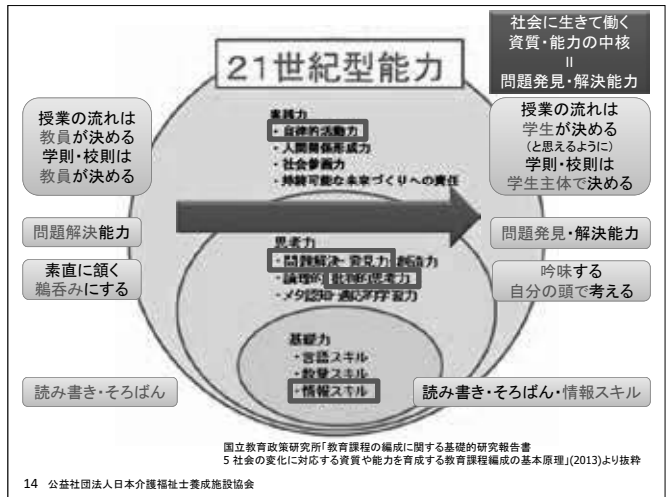
基礎力  
- 言語スキル  
- 数量スキル  
- 情報スキル

国立教育政策研究所「教育課程の編成に関する基礎的研究報告書 5 社会の変化に対応する資質や能力を育成する教育課程編成の基本原則」(2013)より抜粋

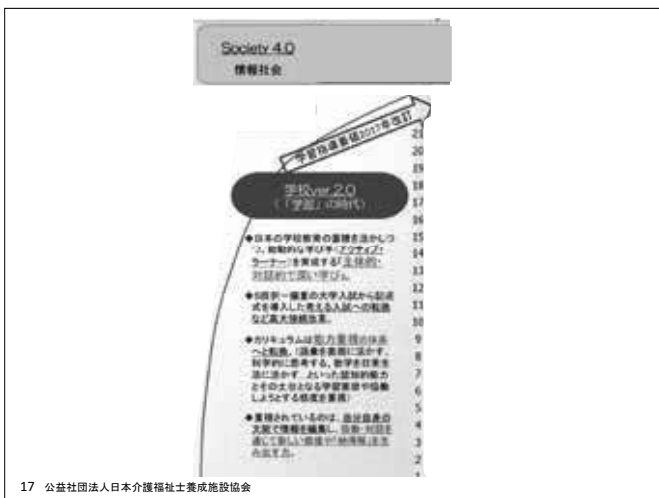
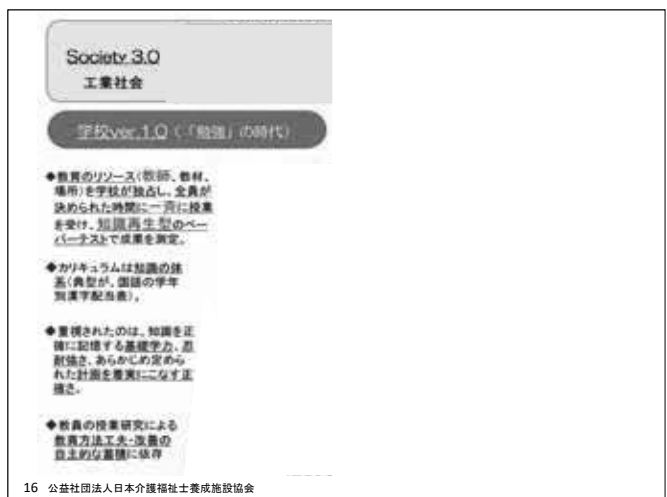
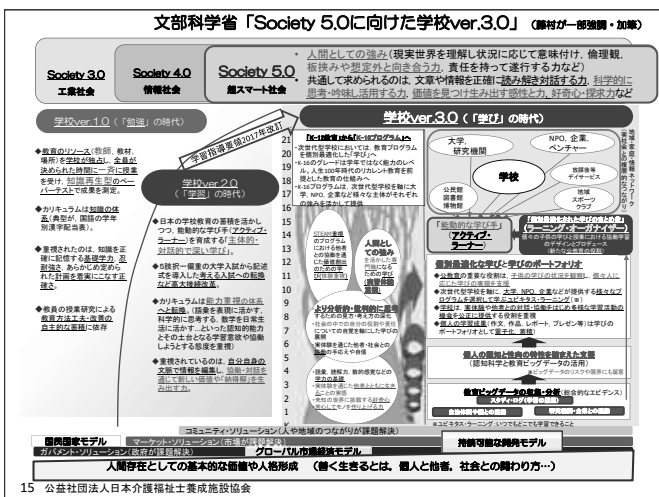
12 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

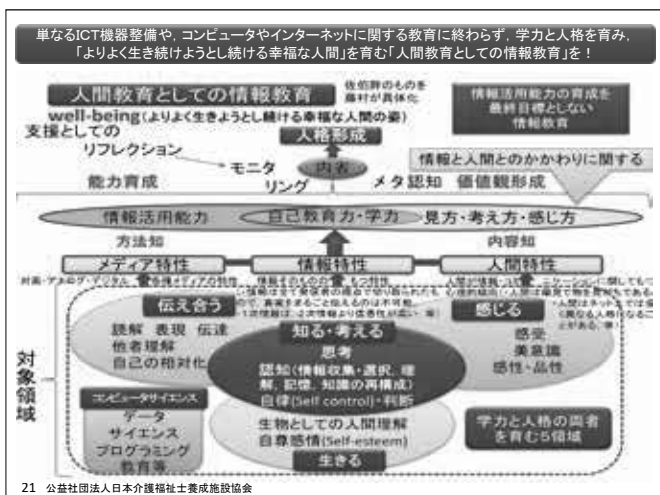
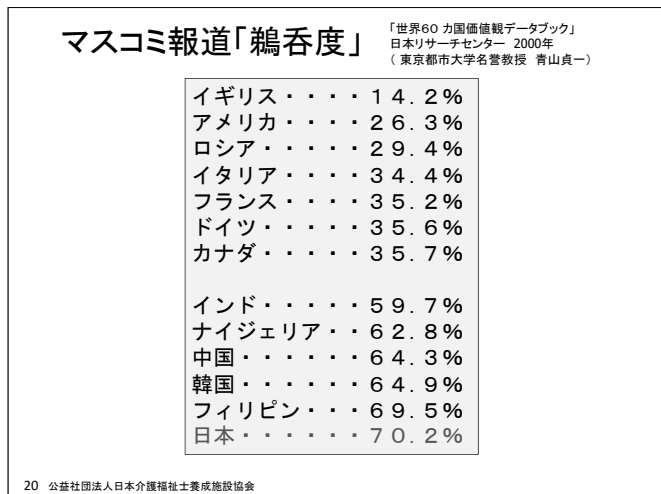


13 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会



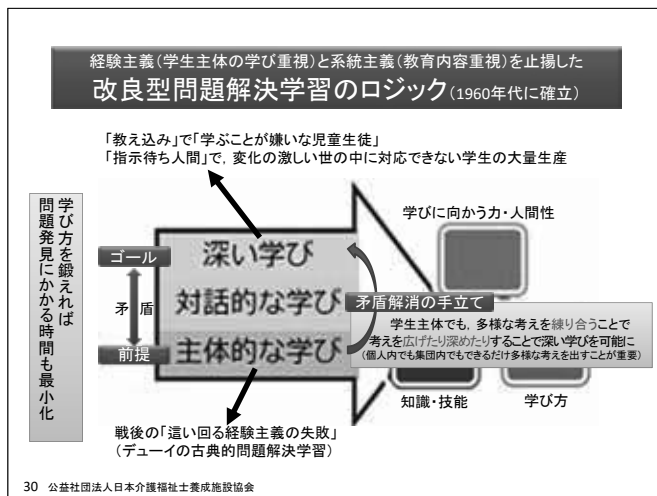
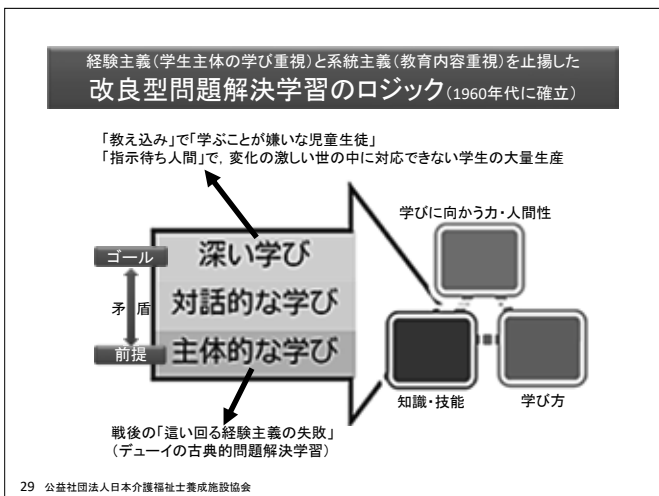
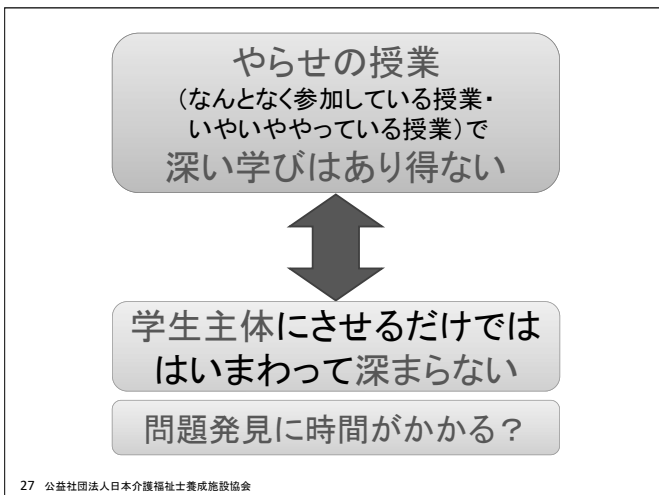
14 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会





- ### H大学教育理念 (知的技法の育成)
- 情報教育
- 正確に理解する能力
  - 正確に書く能力
  - 正確に意思の疎通をはかる能力
  - 数量的な処理能力(コンピュータ)
  - 1つ以上の外国語に通じる能力
  - 明晰かつ批判的に思考する能力
  - 自然と社会と人間とのかかわり方を理解し、知識を得る方法と考え方の習得
  - 違った価値観や制度をもった異文化に関する深い認識
- 22 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会





## 学力向上に対する授業のタイプごとの役割

授業のタイプごとに、獲得する学力が違う。

	教育学的授業類型	獲得するもの	3類型
鍛える授業	1) 教師主導の講義・実習・習熟型授業	基礎的・基本的な知識・技能	習得型
	2) 教師主導の課題解決学習 (学習課題・追究方法とも教師が) Project Based Learning, ジグソー学習	知識・技能の基本的活用モデル	活用型 <small>(探究型が可能になるまでの過渡的なもの。学び方を習得済の高等教育では時間効率化のために一部採用)</small>
自ら学ぶ授業	3) 学生主体の課題解決学習 (学習課題は教師が) (追究方法は学生が)	問題解決能力 (読解力, 思考力, 判断力, 表現力, 価値観 等)	探求型 <small>(探究型が可能になるまでの過渡的なもの。学び方を習得済の高等教育では時間効率化のために一部採用)</small>
	4) 問題解決学習 (学習問題, 追究方法とも学生が) Problem Solving Learning, 優れたPBL	問題発見能力 問題解決能力	探求型 (最終形)

31 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会 T・Sの言語比率でチェックを！ 藤村(2008)

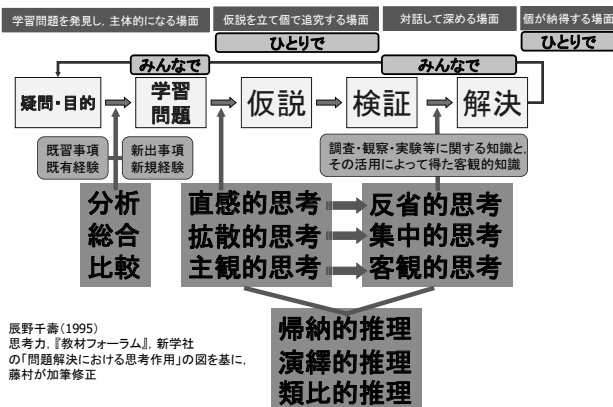
## 学力向上に対する授業のタイプごとの役割

全ての授業は、下記4タイプに分類することができ、タイプ(レベルでもある)ごとに獲得する学力が違う。

	教育学的授業類型	獲得するもの	3類型
鍛える授業 <small>(ここからは教師が学習課題を提示するため指示待ち人間しか育たない)</small>	1) 教師主導の講義・実習・習熟型授業 <small>いつの時代も基礎・基本を教師主導でしっかり育てることは重要</small>	基礎的・基本的な知識・技能	習得型
	2) 教師主導の課題解決学習 (学習課題・追究方法とも教師が) Project Based Learning, ジグソー学習 <small>学習内容を伝えるのはこの人!</small>	知識・技能の基本的活用モデル	活用型 <small>(探究型が可能になるまでの過渡的なもの。学び方を習得済の高等教育では時間効率化のために一部採用)</small>
自ら学ぶ授業	3) 児童生徒主体の課題解決学習 (学習課題は教師が) (追究方法は児童生徒が) <small>主体的・対話的で深い学び</small>	問題解決能力 (読解力, 思考力, 判断力, 表現力, 価値観 等)	探求型 <small>(探究型が可能になるまでの過渡的なもの。学び方を習得済の高等教育では時間効率化のために一部採用)</small>
	4) 問題解決学習 (学習問題, 追究方法とも児童生徒が) Problem Solving Learning, 優れたPBL <small>変化が激しく予測不可能な時代を生きるために必要な問題発見・解決能力はこれでは育たない</small>	問題発見能力 問題解決能力	探求型 (最終形)

32 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会 教師と学生の言語比率でチェックを！ (上に行くほど教師の発語が多く、下に行くほど学生の発語が多い) 藤村(2008)

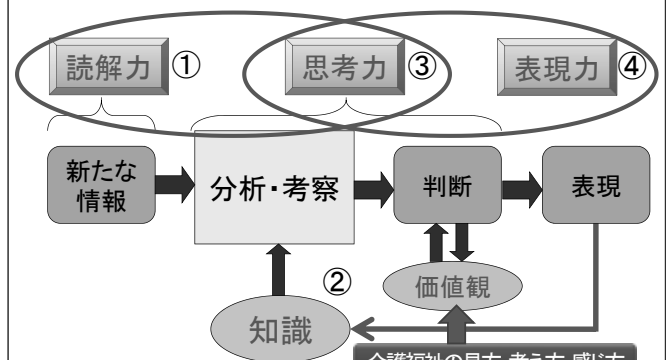
## 問題解決学習における思考のモデル



33 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## セットで鍛えるのがポイント!

### 問題解決における読解・思考・判断・表現



34 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 学生の能力を徹底的に高める先進地域の共通理念

「Teacher」であることをやめましょう!

「教師」の mindset を変える!  
「教える」から「学習支援」へ

自ら問題を発見し、「解がない」問題を  
「福祉の価値観」(見方・考え方・感じ方)を基に  
繰り返し、創造的によりよく解決できる学生へ!

一人一人の利用者の状況をつぶさに観察して読み解き、  
利用者の尊厳を重視しながら、どう自立支援をしたらよいか  
を考えて、関係者みんなの Well-being を考えて繰り返し、  
よりよく実現する方策を創造的に考え出す学生

35 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 主体的・対話的で深い学び (アクティブ・ラーニング) 成立の3要件

「はい回る経験主義」とならないための「学び方」指導  
(利用者や周辺状況の観察・問題発見の仕方、利用者の意向の引き出し方、  
協働的問題解決の仕方等)

「学びの質」(深い学び)を保証する「協働学習」  
(まずは自分一人で考える→みんなで繰り返し合う  
→専門家のアドバイスをもらう→改善案を考える)

教師の深い教材研究と緻密な導入場面の設計

36 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会



## 授業の成否が決まる前提と2つのポイント

前提: 学び方が育っているか

① 学生を突き動かす  
問題発見場面が設計できているか  
(授業の成否の50%)

② 深い学びとなるよう練習合いが  
設計できているか(予想+共有場面)  
(授業の成否の50%)

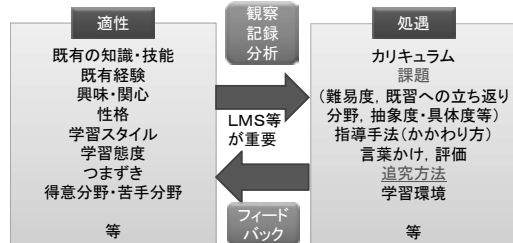
37 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 「個別最適な学び」の理論的根拠

Cronbach & Snow (1977) 適性処遇交互作用(ATI: Ability-Treatment Interaction)

学習者の「適性」と「処遇(指導法)」には交互作用があり、  
その組み合わせにより学習効果が異なる  
→学習者の「適性」に最適な「処遇」を行えば、学習効果は最大化する。

アダプティブ・ラーニング、個性化教育・個別化教育の理論的背景



38 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

「個性化」と「個別化」の明確な識別と使い分けが  
「個別最適な学び」と「協働的な学び」の両立を実現する

### 個性化

個々の多様な見方・考え方の重視  
(子供のタイプ=「類」で見て支援)

追究内容・方法の多様化  
(「類」の数の複線化)

練習合いによる深まりと広がり  
(交流必須)

アクティブ・ラーニングと両立  
(主体的な学び)  
アクティブ・ラーナー

教師の教材研究・学生理解の深さと  
授業力に依存  
(不足していてもできるようにICTで教員支援)

高等教育はこちらが中心  
(スタディ・ログ+アシスト・ログの集積・分析)

### EdTechとしての 個別化

個の見方・考え方の重視  
(多様性は対象外=「個」を支援)

追究方法の個別化  
(人数分の複線化)

練習合いによる深まりと広がりなし  
(交流なし)

アクティブ・ラーニングと両立不可  
(半受動的な学び)  
半パッシブ・ラーナー

システム・教材の作り込みの良さと  
分析エンジンの性能に依存

高等教育の一部(能力育成)と自学  
(スタディ・ログの集積・分析)

教員支援システムが教師を介して学生に間接支援

AI・ドットリルが学生に直接支援

39 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

主体的・対話的で深い学び  
個別最適な学び・協働的な学びを  
必然的に設計できる  
授業構想の改善

40 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

看護教育における実習指導教員のコンピテンシー研究から学ぶ  
介護福祉教育の実習指導の在り方  
穴吹医療大学校副校長・奈良育代・藤村(2020)

### 本研究に取り組む背景

関わる教員により学生の成長に差異

介護福祉  
専任教員

資格取得  
要件多様

真面目で熱心  
自己研鑽も積極的

「教育」に関する学修  
不十分

教員誰もが学生の成長を支援できる

教員の何が違うのか、  
教員個々の指導の特性を  
明らかにする

どのような支援ができれば  
教員は成長できるのか、  
教員支援の在り方を研究

41 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

### 観察調査結果 教員の学生指導と指導力別対応分析

指導に課題を有する教員の対応

指導に優れている教員の対応

否定

問い詰める

穏やか

聞く

厳しい

真面目

たのしい

問いかける

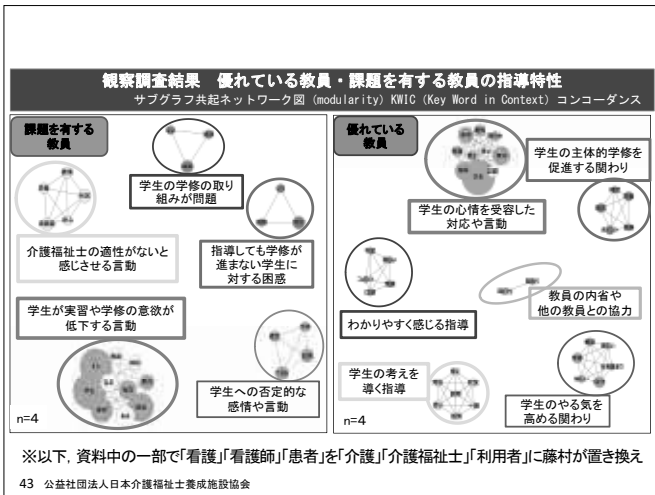
知る

ポイント

認める

n=13

42 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会



### 観察調査・学生の質問紙調査からの結果・考察 実習指導に優れている・望ましい教員の特性

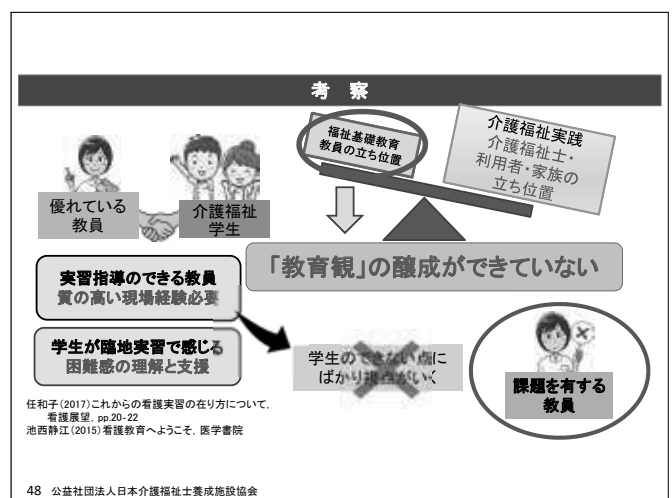
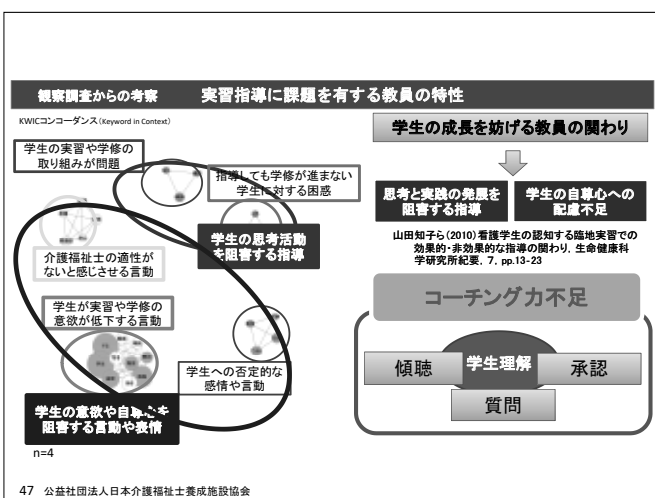
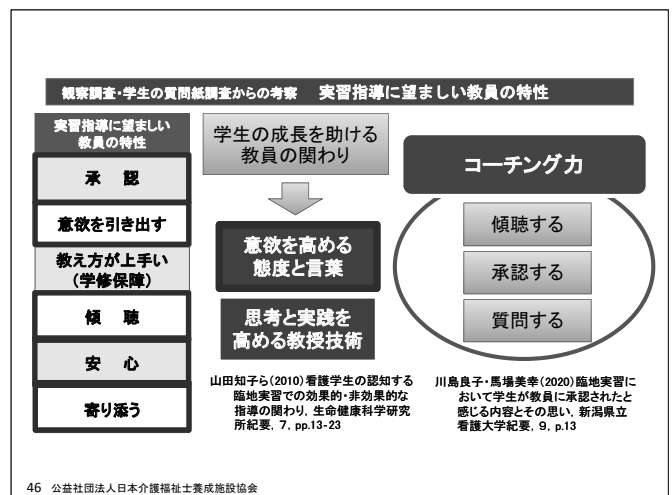
実習指導に優れている教員 (観察調査)	① 課題解決となる教員 (学生への質問紙調査)	① 指導を受けたい教員 (学生への質問紙調査)	① 学習を促進する教員 (学生への質問紙調査)
学生を受容した対応	学生の考えをさく	わかりやすく話しやすい	承認
やる気を高める関わり	やる気を引き出す	的確な指導	褒められる
主体的学習を促進する関わり	具体的な説明	優しい	やる気を引き出す
わかりやすい指導	探究支援	接しやすい	高い指導力
学生の考えを導く指導	深い学び	思考力向上	学びの工夫
教員の内省や教員間での協力	褒める・承認	精神的支え	寄り添う
	丁寧な指導	知識・技術向上	ともに考える
		適切な助言	相談
		実習しやすい環境提供	笑顔・温厚
			安心感

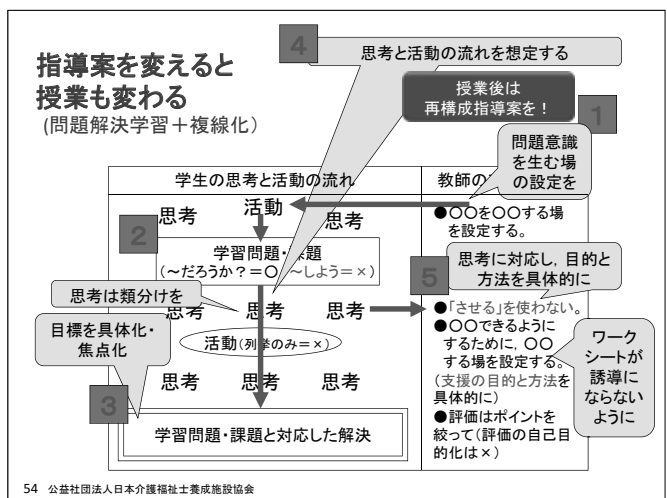
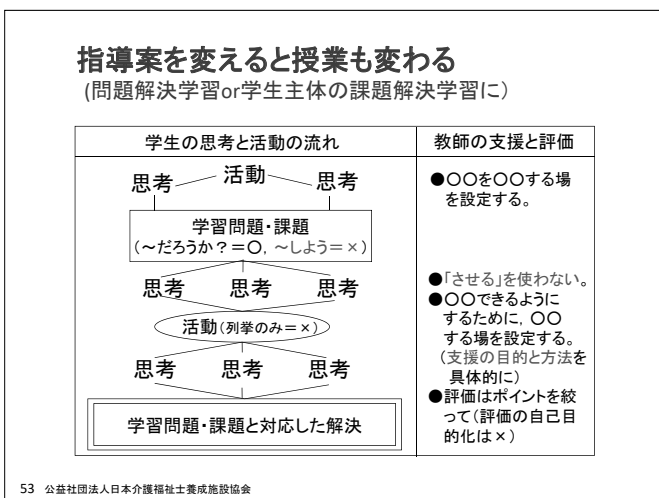
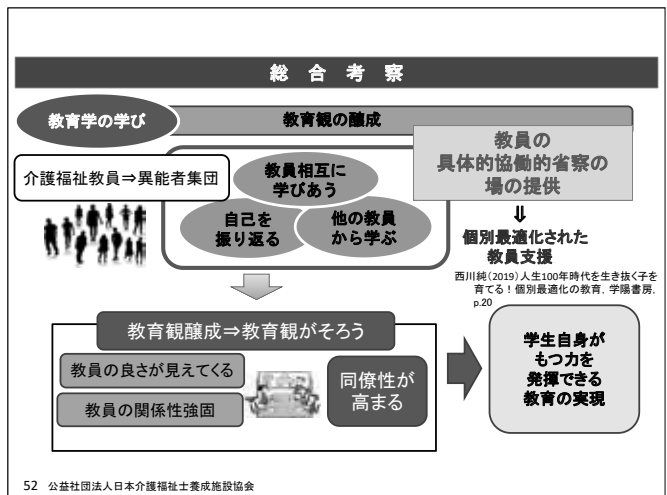
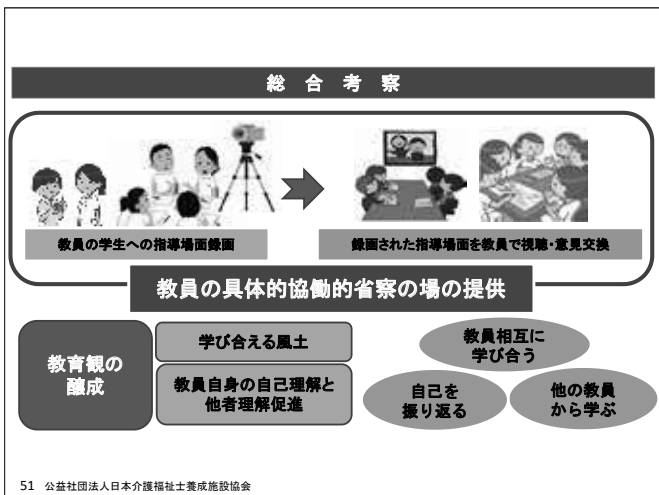
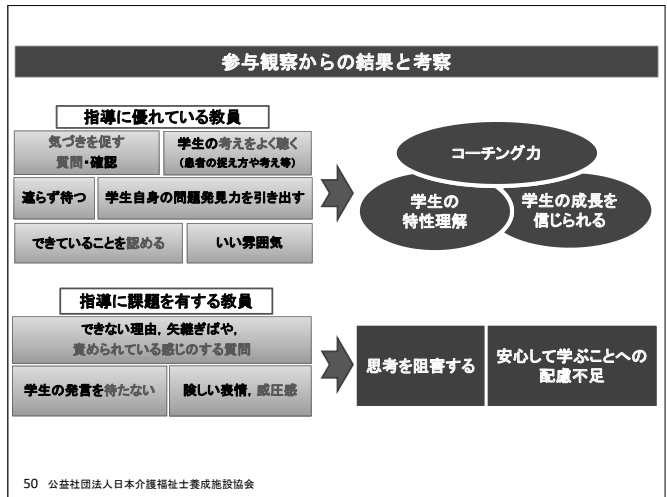
44 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

### 観察調査・学生の質問紙調査からの考察 実習指導に望ましい教員の特性

実習指導に優れている・望ましい教員	特性
学生を受容した態度 褒める・承認 承認 褒められる	承認
やる気を高める 主体的学習を促進する やる気を引き出す	意欲を引き出す
わかりやすい指導 具体的な指導 的確な指導 探究支援 思考力向上 深い学び 適切な助言 丁寧な指導 知識・技術向上 高い指導力 学びの工夫 わかりやすく話しやすい 学生の考えを導く	教え方が上手い (学修保障)
学生の考えをさく ともに考える 相談	傾聴
優しい 接しやすい 実習しやすい環境 笑顔・温厚 安心感 教員の内省や教員間での協力	安心
精神的支え 寄り添う	寄り添う

45 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会





小見出しをつけることで、主張を明快に  
(自分自身にとってのわかり直しにも)

授業を構造的に構想する  
(児童生徒の思考と活動を想定し  
それに対する支援を計画することで  
主体的・対話的で深い学び  
個に応じた複線化授業を  
必然的に設計できる)  
フローチャート型指導案

55 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

全時間の思考と活動の流れを想定し  
支援を計画する

56 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

フローチャート型指導案の本時の例

問、応生心場

学習問題

教材研究と  
学生の思考  
と活動の流れ  
の想定を  
「類」に構造的  
に分類した  
予想・仮  
説を多様化  
に立てる場  
(複線化へ)

繰り返す場

解決

画に返す場

57 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

### 問題発見の4つの方法

- 1. 既有経験や既習との「ズレ」**  
これまでの経験や学習では説明できない事実・事象と出会う場を設定する。  
これまでの見方、考え方との「ズレ」を感じて追究せずにはいられない強い問題意識を生む。
- 2. 友達との意見の対立・拮抗**  
児童生徒の異なる意見を取り上げ、その違いを際立たせる場を設定する。  
どちらが正しいのかという問題意識を生む。

58 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

- 3. 目的達成へ向けての障害克服**  
児童生徒が目標へ向かって追究する際、障害にぶつかる。  
どのようにしたらその障害を乗り越えられるのかという問題意識を生む。
- 4. 素朴な疑問から問題意識への醸成**  
「これはどうなっているんだろう？」といった素朴な疑問を、何のどこがわかっていないのかを明らかにする場を設定する。  
強い問題意識を醸成していく。

59 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

教育内容・介護技術に関する研究だけでなく、  
授業論・学び方指導(学習方法論)のプロであること

学生を夢中にさせる授業づくりを楽しむ  
教師の遊び心！

授業改善は、  
実はすごく楽しい！！

みんなの知恵(授業アイデア等)を共有して、  
楽しいいい授業の再生産を！

60 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

### ◆科目 13 個人差に対応した授業展開【外国人留学生】(対象：全教員)

目的・ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人留学生の困りごとを理解できる</li> <li>・困りごとに対応した指導方法を導き出すことができる</li> <li>・外国人留学生の学びの環境を整えることができる</li> </ul>
講師	・嶋田 直美／和歌山YMC A国際福祉専門学校 介護福祉士科
研修概要	(1)概論：外国人留学生の現状を説明する (2)方法論：外国人留学生の困りごとやそれに対する指導方法について、事例を用いて説明する
時間数	(1)10分／(2)20分 計30分
参考文献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際交流基金・日本国際教育支援協会ホームページ (<a href="https://www.jlpt.jp/about/levelsummary.html">https://www.jlpt.jp/about/levelsummary.html</a>)</li> <li>・一般社団法人職業教育・キャリア教育財団「介護福祉分野専門学校における留学生受け入れ事例集」(2016年)</li> <li>・日本介護福祉士養成施設協会「外国人留学生受入れに関するガイドライン」(2017年)</li> </ul>

近年、介護福祉士資格を目指す外国人留学生が増加してきている状況において、介養協は2017年に「外国人留学生受入れに関するガイドライン」を示した。その中では介護福祉士養成校への入学要件として日本語能力N2相当の日本語能力が必要と示している。しかし介護福祉士養成校に入学している外国人留学生をみると、実際にはN2相当の日本語能力に達していない留学生が多く入学していることも否めない。その結果、国家試験の合格率の低さなども介護福祉士養成校の課題として挙げられている。そこで本科目では、彼等が学習面でどのような困りごとを感じているのかを明らかにすること、またそれらに対してどのような指導方法が必要となるか、介護福祉士国家試験の事例問題等を用いて、日本語能力認定試験（以下、JLPT）のN2レベルとN4レベルの比較を通して紹介した。

JLPTでは日本語能力N2の認定目安について「日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる」とし、N3では「日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる」、また、N4では「基本的な日本語を理解することができる」と定めている。

まずN2とN4の日本語教育内容の比較をみると、習う語彙のバリエーションや漢字語の量が圧倒的に違う。また文章解釈では、N4では見てわかる状況や習慣的な事柄など具体的な事柄を扱うことが多くなる。しかしN2では心情・仮定・推測など抽象的な事柄を扱うことが増える。その結果、介護福祉士国家試験科目の一つである「総合問題」の事例文では、利用者の心情や仮定など抽象的な事柄を扱う問題が多くみられているため、N4レベルの留学生では事例文の内容理解ができない可能性がある。また、事例文では「訴える」や「拒否した」などN2～N3レベルで習う語彙や、「～に伴って」や「～したところ」など、N4ではまだ習っていない文法が多く用いられている。さらに日本語の特徴として主述関係が省略されている文章も多く、「誰が」「誰に」「何がどうな

ったか」といった内容の理解が困難となる留学生もある。特に日本語能力の低い留学生では語彙の読み方がわかっているにもかかわらず、その意味や内容が理解できているわけではないということを教員は理解しておく必要がある。したがって学習指導で留意すべきことは、語彙の読み方を覚えさせるよりも、言葉の意味を理解させるといった指導が必要となる。また、国家試験の過去問題や模擬問題を繰り返し実施することも日本語の文章に慣れるといった学習効果が期待できる。こういった指導を繰り返していくことで事例文の内容把握や、国家試験の解答時間が短縮できることにもつながり、結果的に試験問題の見直し時間が持てるようになる。

以上、介護福祉を学ぶ外国人留学生に対する日本語指導に必要なことは、①N4レベルの学生の場合、専門教育に先立って日常的な事柄を聴いて反応できるようにする、②漢字やカタカナの言葉への抵抗感をなくすこと、③専門用語については、その意味を説明する日本語が理解できる、といった指導を日頃から繰り返し触れさせ、習ったことを具体化する練習が必要となる。

対象：全教員

分野Ⅳ 教育方法に関するごと

## 科目13 個人差に対応した授業展開 【外国人留学生】

公開期間：令和3年3月3日～12日

嶋田 直美 / 和歌山YMCA国際福祉専門学校

1 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 本科目の目的

- 外国人留学生の困りごとを理解できる。
- 困りごとに対応した指導方法を導き出すことができる。
- 外国人留学生の学びの環境を整えることができる。

2 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 本科目の流れ

(1)	<b>概論</b> :外国人留学生の現状を説明する。	10分
(2)	<b>方法論</b> :外国人留学生の困りごとやそれに対する指導方法について事例を用いて説明する。	20分

3 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

### (1) 概論

## 外国人留学生の現状

4 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 外国人留学生受入れに関するガイドライン

- 基礎学力として外国における12年の課程修了相当の学力認定試験に合格し、かつ18歳に達している者
- さらに、日本語教育を受けて一定の日本語能力を有している者

N2相当

引用:介護福祉士養成施設協会  
「外国人留学生受入れに関するガイドライン」2017年3月

5 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 日本語能力レベル試験

### Japanese Language Proficiency Test (JLPT)

日本国際教育支援協会が実施している、原則として日本語を母語としない人を対象に、日本語能力を測定し認定する試験

#### (試験の内容)

日本語の文字や語彙、文法についての能力を測るだけでなく、それらの知識を利用してコミュニケーション上の課題が遂行できるかどうかといった読解、聴解など総合的な日本語能力を測るもの

引用:国際交流基金・日本国際教育支援協会ホームページ  
<https://www.jlpt.jp/about/levelsummary.html>

6 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## JLPTによる日本語能力レベル認定の目安

N1	幅広い場面で使われる日本語を理解することができる
N2	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる
N3	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる
N4	基本的な日本語を理解することができる
N5	基本的な日本語をある程度理解することができる

出典:国際交流基金・日本国際教育支援協会ホームページ  
<https://www.jlpt.jp/about/levelsummary.html>

7 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 介護福祉を学ぶ留学生の顕在化している学習課題

- ① 日本語の細かいニュアンスが理解できない
- ② 日本語能力が不足し、授業そのものについていけない者がいる
- ③ 教科書内容や用語を理解させることに多くの授業時間が割かれてしまう

引用:一般社団法人職業教育・キャリア教育財団  
 「介護福祉分野専門学校における留学生受入れ事例集」2016年

8 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 日本語能力N2レベルとN4レベルの比較

### ① 語彙のバリエーション・漢字語の量の違い

(例1)

N4「いつも助けてもらっているので、悪いと思っています」

N2「助けてもらってばかりで、心苦しいです」

(例2)

N4「申し込むとき、名前を書いて、印鑑を押したかどうか確認してください」

N2「申込に際し、署名・捺印のご確認をお願いします」

9 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

### ② より自然な日本語

(例1)

N4「書類を簡単に読んでおいてください」

N2「書類にざっと目を通しておいてください」

(例2)

N4「田中さんは、少し風邪をひいているみたいで、  
頭が痛いと言っている」

N2「田中さんは、風邪気味で頭痛を訴えている」

10 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

### ③ その他

➤N4とN2では、漢字語彙の量が圧倒的に違う

➤N4では、見てわかる状況や習慣的な事柄など、具体的な事柄を扱うことが多いのに対して、N2では、心情・仮定・推測など、抽象的な事柄を扱うことが増える

➤非漢字圏の学習者の中には、字形の識別が難しい学習者がみられる

(例:「問」「間」、「人」「入」など)

11 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## (2) 方法論

外国人留学生の困りごとや  
それに対する指導方法

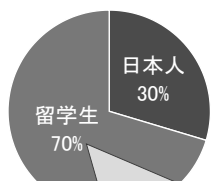


12 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会



## 本校介護福祉士科の留学生状況 (2019年度)

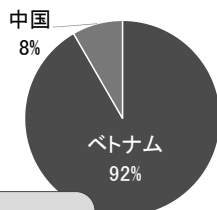
介護福祉士科の定員状況



1年生留学生：22名  
2年生留学生：16名

N1、N2取得 (70%)  
日本語留学試験200点以上 (30%)

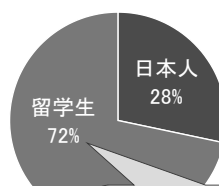
留学生の国籍



13 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## (2020年度)

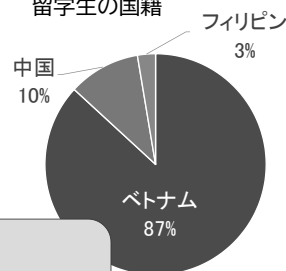
介護福祉士科の定員状況



1年生留学生：16名  
2年生留学生：22名

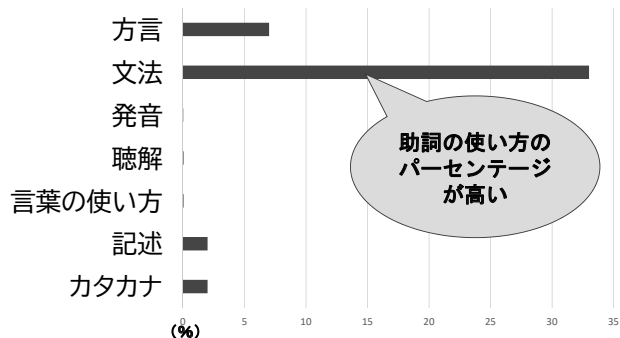
N1 (3%)  
N2 (60%)  
日本語留学試験200点以上 (37%)

留学生の国籍



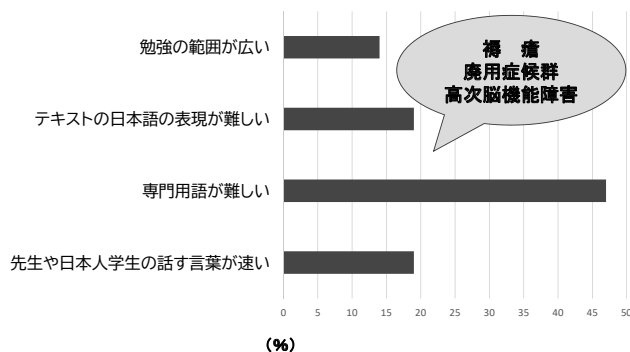
14 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

### ①日本語の「難しい」と感じる箇所は何ですか (N=36)



15 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

### ②介護福祉士科の授業での困りごと (N=36)



16 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 国家試験の事例問題を用いた日本語の分析

(第30回介護福祉士国家試験「総合問題」)

Cさん(87歳、女性)は、「財布がなくなった、誰かに盗られた」と訴えるようになった。夫が盗られていないことを説明しても受け入れなかった。心配した夫に連れられて受診すると、アルツハイマー型認知症と診断された。その後、認知症の進行に伴って夫の介護負担が増えたので、通所介護を利用することになった。ある日、介護福祉職が入浴介助をしている時、Cさんの体に複数のあざを見つけたため、介護支援専門員に報告した。介護支援専門員から連絡を受けた地域包括支援センターの職員がCさんと夫に確認したところ、夫による暴力が原因であることがわかった。

17 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

(続き)

夫の介護負担が軽くなるように、ショートステイの利用を勧めたが、夫は拒否した。その後も、虐待は改善されなかった。そこで、市町村のやむを得ない事由による措置により施設に入所することになった。入所後まもなく、夜間に施設内を歩き回るCさんの様子が見られた。介護福祉職が声をかけると、「トイレの場所がわからない」と話した。日中はトイレで排泄を行い、下着を汚すことはなかった。

18 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

【下線：N2～N3レベルの語彙】

- ・訴える
- ・受け入れなかった
- ・連れられて
- ・受診すると
- ・診断された
- ・複数、あざ
- ・受けた
- ・暴力
- ・勧めたが
- ・拒否した
- ・虐待、改善
- ・そこで
- ・まもなく
- ・夜間、内
- ・歩き回る
- ・声をかけると
- ・日中

N4では  
未習！

19 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

【赤字：N2～N3レベルの文法】

- ・に伴って
- ・ことになった
- ・ため
- ・したところ
- ・により
- ・ことはなかった

N4では  
未習！

20 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

【読解で困難と思われる箇所】

- ①（「受け入れる」の意味がわかったうえで）  
「受け入れなかった」  
誰が、どんなことを、受け入れなかったのか？
- ②「心配した夫に連れられて受診する」  
誰が、誰を、どこに、つれていったのか？
- ③「診断された」  
誰が、アルツハイマー型の認知症になったのか？

21 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

- ④「施設に入所することになった」  
誰が何を利用するのか？
- ⑤「夫は拒否した」  
夫は、何を拒否したのか？
- ⑥「虐待」  
誰が誰に対して行っているのか？

22 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

- ⑦「施設に入所することになった」  
誰が施設に入所するのか？
- ⑧Cさんが施設に入所している理由  
→が、答えられるか？

23 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

外国人留学生に対する日本語指導

- ① N4レベルの学生の場合、専門教育に先立って日常的な事柄を聞いて反応できるようにする必要がある  
(例)
  - ～までに・・・てください。
  - ～について・・・ください。
  - ～てはいけません。～ないでください。
  - ～しておいてください。
  - ～の場合は・・・

24 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

② 漢字やカタカナの言葉への抵抗感をなくす

- 単漢字の意味を理解させる
- 漢字の構成(つくりやへんなど)を理解させる
- 漢字の読み方を教え、音読させ、書かせる
- 複数の例文を示して、文脈の中での使われ方を教える

25 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

③ 専門用語を覚えて理解するために、専門用語を説明する日本語が理解できる

- よく使う表現を繰り返し触れさせる
- 習ったことを具体化する練習

(日本語指導の目標)

- ① 講義がわかる
- 専門用語＋よく使う表現＋論理的に考える力
- 聴解力

② 教科書がわかる

26 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

(最後に・・・)

語彙の読み方を覚えさせるよりも、言葉の意味を理解させるといった指導が必要。

読み方がわかっている、理解できているわけではない！

国家試験合格に向けての指導では、問題を速く読み、内容が理解できるよう、繰り返しの指導が功を奏する。

N2レベルの留学生では、ルビを煩わしく思い、「読みにくい」と感じる留学生が多い。

27 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

➤ 最低基準として介護福祉を学ぶための日本語能力を有していること

➤ 日本語能力の低い学生は、学生自身が授業等に対するストレスがかかり、精神的に悪影響を与えてしまう

➤ 留学生選考時に対する教員の意見

28 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## ◆科目 14 個人差に対応した授業展開【学習に課題を抱える学生】（対象：全教員）

目的・ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生の特性を理解できる</li> <li>・学生の学ぶ意欲や発想力、創造力を十分に発揮できるよう、学びの環境を整えることができる</li> <li>・教員の「気づき」を具体的な学習支援につなげる</li> </ul>
講師	・木村 あい／神戸女子大学 健康福祉学部 社会福祉学科
研修概要	(1) 概論：学習に課題を抱える学生の現状を説明する (2) 方法論：教員の気づきを具体的な学習支援につなげ、学びの環境を整える方法について事例を用いて考える
時間数	(1)10分／(2)30分 計40分

この研修は、学生の特性を理解できる。学生の学ぶ意欲や発想力、創造力を十分に発揮できるよう、学びの環境を整えることができる。教員の「気づき」を具体的な学習支援につなげる。ということを目としている。

本科目の流れは、(1)で学習に課題を抱える学生の現状を説明し、(2)では教員の気づきを具体的な学習支援につなげ、学びの環境を整える方法について事例を用いて考えていった。

様々な学生がいる中で、教員の「あれ？おかしいなあ・・・何でだろう」という気づきを大切に、授業展開を考えていくことが重要である。まず、教員が気になる学生は、ほとんどの場合、本人はとてもし生懸命にやっている。今回は、「本人は一生懸命やっているのに、なぜ？」と感じる事例について考えていった。

このような学生は、周囲の人と自分を比べてしまっていて、劣等感を抱いている場合も少なくない。また、どうして自分はできないのだろう、なんで人とうまく関われないのだろう、また失敗して注意を受けるのではないかなど、一日中緊張していたり、失敗を恐れて積極的になれなかったりする。

まず、学生の困りごとやニーズを把握するための学生対応の基本に触れていきたい。まず、カウンセリングマインドをもって接し、秘密を守り、合理的配慮をする。さらに、個々に合わせた関わり方が必要である。

次に学生の「できない」を「できる」に変換していくために事例を用いて説明していった。

教員の気づきを具体的な学習支援につなげ、学びの環境を整える方法について考えていった。教員が気になっている学生は、本人も「なんで自分はできないのだろう」と悩んでいる場合がある。そのため、成功体験を増やして、自信をつけていくことが必要となる。少しの工夫で学生の「できない」を「できる」に変換していける場合がある。

ここでは、5つの事例を用いて、教員が気づいた一つの行動や状況から、その原因は何か、解決に向けてヒントとなることや支援方法を考えていった。

事例1：入学式や授業で落ち着きがないケース

事例2：課題が提出できないケース

事例 3：一斉の指示で行動ができないケース

事例 4：履修登録を間違えるケース

事例 5：実習でのトラブルについて

学習に課題のある学生と一言と言っても、様々なケースがある。私たち教員が、学生に何を教授するのかということも大切であるが、その土台になる環境を整備することが重要といえる。学習に課題のある学生それぞれに共通して言えることは、構造化することである。

構造化とは時間や手順をみえる形にすることである。構造化するメリットとして、課題の原因に対して適切な対処ができるようになる、課題解決の優先順位がつけやすくなる、情報共有やコミュニケーションがしやすくなるということが挙げられる。それにより、学生が、理解しやすく、不必要な混乱をしなくてすんだり、効率的に学習するのを支援できたり、安心して自信を持って学習、生活できたり、必要な情報に注意を集中しやすくしたり、できるだけ自立して生活し、自分の行動をマネジメントすることができるようになる。

令和2年度生活困窮者救済費等補助金(社会福祉推進事業分)  
「介護福祉士養成施設の教員の教育力向上に関する調査研究事業」  
介護福祉士養成課程の教員の教育力向上に向けたモデル研修

対象：全教員

分野IV 教育方法に関すること

## 科目14 個人差に対応した授業展開 【学習に課題を抱える学生】

公開期間：令和3年3月3日～12日

木村 あい / 神戸女子大学

1 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 本科目の目的

- 学生の特性を理解できる。
- 学生の学ぶ意欲や発想力、創造力を十分に発揮できるよう、学びの環境を整えることができる。
- 教員の「気づき」を具体的な学習支援につなげる。

2 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 本科目の流れ

(1)	<b>概論：</b> 学習に課題を抱える学生の現状を説明する。	10分
(2)	<b>方法論：</b> 教員の気づきを具体的な学習支援につなげ、学びの環境を整える方法について事例を用いて考える。	30分

3 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## (1) 学習に課題のある学生の現状

### 気になる学生はいる？

- 例) 入学式や授業で落ち着きがない  
 宿泊行事の参加が難しい  
 忘れ物が多い  
 課題が提出できない  
 一斉の指示で行動ができない  
 履修登録を間違える  
 実習先でのトラブル                    etc...

4 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 本人は一生懸命やっている

どうして自分  
はできないの  
だろう

ミスや注意され  
るのを恐れて、  
一日中緊張して  
いる

なぜ、人とう  
まく関わられ  
ないのだろう

同級生はできて  
いるのに・・・  
劣等感

5 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 「障がい学生」への対応

- 合理的配慮  
「合理的配慮」の観点として
- 1 教育内容・方法
- 2 支援体制
- 3 施設・設備について

障がいを抱える学生が十分な教育を受けられるようにするためには、個別の教育的ニーズのある学生に対して、自立と社会参加を見据えて、その時点で教育的ニーズに最も的確に応える指導を提供できる多様で柔軟な仕組みを整備していく必要がある。

出典： 文部科学省ホームページ <https://www.mext.go.jp/>

6 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 学生対応の基本

### 【1】 カウンセリングマインド

- 対等な立場として認識する
- 話しやすい環境を作る
- きちんと話を聴く
- 学生の立場を理解する
- 傷つけない
- 情報を正確に伝える
- 自分の間違いに気づいたら謝る

### 【2】 秘密を守る

### 【3】 合理的配慮

7 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## (2) 教員の気づきから支援へ

・学生の「できない」を  
「できる」に変換していく

8 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

### 事例1 入学式や授業で落ち着きがない

なぜ？

- 初めての場所や場面が苦手
- 先の見通しが持てず、不安を感じる

ヒント

- 本人・保護者から情報を得る
- 教員間で対応方法を話し合う

対応

- 人や場に慣れるようにする
- 先の見通しが持てるようにする

9 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

### 事例2 課題が提出できない

なぜ？

- その時は理解したのに時間が経つとわからなくなる

ヒント

- 本人・保護者から情報を得る
- 教員間で対応方法を話し合う

対応

- その都度確認する
- 本人がメモを取る（ルール化していく）

10 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

### 事例3 一斉の指示で行動ができない

なぜ？

- 口頭説明だけでは、理解しにくい
- 板書が書き取れない
- 周りに気がとられて集中できない etc

ヒント

- 本人・保護者から情報を得る
- 教員間で対応方法を話し合う

対応

- 視覚でわかるように工夫（プリントや動画）
- タブレット等の使用

11 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

### 事例4 履修登録を間違える

なぜ？

- 単なる忘れ
- やったつもり

ヒント

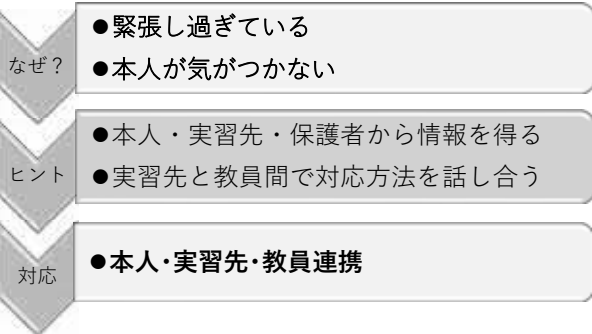
- 本人・保護者から情報を得る
- 教員間で対応方法を話し合う

対応

- 逐一確認をとっていく

12 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 事例5 実習でのトラブル



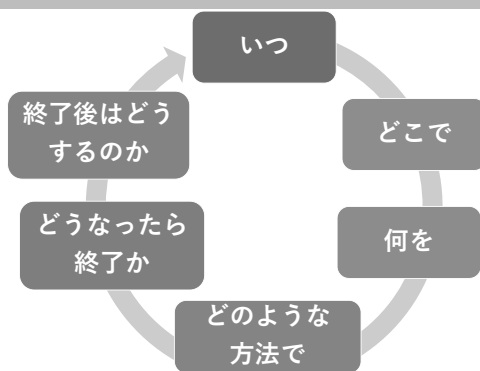
13 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 構造化する

- 時間の構造化
  - 空間の構造化
  - 手順の構造化
- +
- 視覚化
- 何を教授するのも大切なが、その土台になる環境を整備することが重要である

14 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## 何を視覚化するのか



15 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

## まとめ



16 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会